

## X. ベトナム社会主義共和国

<要約>

	概要	特徴
1. 市場環境の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会構造 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総人口：9,458 万人 (2018 年 IMF 推計)</li> </ul> </li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人当たり GDP：2,553 ドル (2018 年 IMF 推計)</li> <li>・ 実質 GDP 成長率：6.6% (2018 年 IMF 推計)</li> <li>・ 1 ドル=22,714 ドン/100 ドン=0.49 円(2018/9/28)</li> </ul> </li> </ul>	
2. 金融制度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○銀行等の業態分類 (機関数、総資産シェア、根拠法) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国有商業銀行 (4、45.1%、2010 年与信機関法)</li> <li>・ 民間商業銀行 (31、40.6%、2010 年与信機関法)</li> <li>・ 合弁銀行・外国銀行現地法人・外国銀行支店 (順に 2・9・48、合計 9.8%、2010 年与信機関法)</li> <li>・ 人民信用金庫 (1,147、1.0%、2010 年与信機関法)</li> </ul> </li> <li>○監督官庁：ベトナム国家銀行 (SBV)</li> <li>○金融資産 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 銀行預金残高 (2017 年 12 月末)：6,795 兆ドン。うち、普通預金が 973 兆ドン、定期預金が 5,181 兆ドン、外貨預金が 642 兆ドン。</li> </ul> </li> <li>○銀行による貸出等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内非政府貸出残高 (2017 年 12 月末)：6,544 兆ドン</li> </ul> </li> <li>○預金保険制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベトナム預金保険機構。1 金融機関、預金者一人当たり、7,500 万ドンが保証される。</li> </ul> </li> <li>○金融税制 (主な金融所得税率) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 預貯金利子：銀行・信用機関への預金からの利子は非課税。それ以外の利子は 5%課税。</li> <li>・ 投資商品：配当金は 5%、キャピタルゲイン純利益の 20%または売却価格の 0.1%課税。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国有商業銀行の預金残高、融資残高のシェアが低下している一方、民間商業銀行の預金残高、融資残高は増加しており、両者のシェアは均衡しつつある。</li> <li>○預金保険機構の設立根拠を法律にするとともに、預金保険の法的規制を強化し、関連の法的書類の有効性を高めるため、2012 年 6 月 16 日に預金保険法が設立。</li> <li>○証券投資よりも銀行預金を優遇した税制。</li> </ul>

<p>3. リエンベト郵便銀行の概要</p>	<p>○郵便貯金制度・経営形態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2010 年までは、ベトナム郵便貯金サービス会社はベトナム郵便公社内の独立採算組織であったが、2011 年に民間商業銀行であるリエンベト銀行と合併し、リエンベト郵便銀行となった。</li> </ul> <p>○郵便公社等との関係・拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• リエンベト郵便銀行は 2018 年 3 月時点で、国内全 63 省/市にある 267 の店舗及び、約 1,100 の郵便局 (Postal Transaction Office, PTO) を通じて預金/貸出サービスを提供している。</li> </ul> <p>○サービス内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 民間商業銀行になってから、預金のほか、住宅ローンを始めとする各種貸付を行っている。</li> </ul> <p>○郵便貯金残高</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2017 年 12 月末、郵便貯金の残高は 39.7 兆ドン (預金残高全体の 26%)。</li> </ul>	<p>○ベトナム郵便貯金サービス会社とリエンベト銀行が合併したことにより、資本金や総資産等が急激に増加したとともに、ネットワークが拡大した。</p>
<p>4. 金融セクターにおけるリテール金融機関の特徴</p>	<p>○リエンベト郵便銀行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 郵便貯金サービス会社と民間商業銀行の合併で誕生したが、ベトナム郵便公社と異なり、ユニバーサル・サービス義務は課されていない。</li> <li>• 国内金融機関の総資産に占めるシェアは 1.5%~1.6% (2018 年 5 月末)。</li> <li>• 民間商業銀行として、他行に順ずる多様な商品を提供しているほか、協力関係にあるベトナム郵便公社が年金口座に関する唯一のサービス提供者と定められたことから競争優位を得ている。</li> </ul> <p>○人民信用金庫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 中央のベトナム協同組合銀行と、1,147 の人民信用金庫によって構成される。政府が 99%を出資し、会員からの出資は 1%のみ。</li> <li>• 国内金融機関の総資産に占めるシェアは 1.3% (2018 年 5 月末)。</li> <li>• 人民信用金庫は会員/非会員両方から預金を受け入れることができるが、貸出は原則として預金をしている顧客向けに限られる (貧困家計の特例を除く)。</li> </ul>	<p>○リエンベト郵便銀行の預金金利は国有商業銀行とほぼ同水準だが、民間大手商業銀行より若干低い水準。</p>

○不良債権問題への取り組み

- ・ 競売に関する権限や不良債権処理での制約の一部取り払いが行われたことにより処理スピードが加速した。不良債権比率は 2017 年末時点で、2.0%まで低下している。なお、VAMC (ベトナム資産管理会社) は、発足した 2013 年から 2017 年の期間で、42 の機関から計 308 兆ドンに相当する不良債権を取得している (取得金額は 278 兆ドン)。

○キャッシュレス決済分野について

- ・ 2016 年 12 月に電子商取引開発計画を承認。この計画では、2020 年までに全流動性に占める現金の割合を 10%以下にすることや、国内全てのスーパーやショッピングセンターでキャッシュレス決済が可能とすることなどが掲げられている。また、金融包摂を実現するために、15 歳以上の人口のうち 7 割が銀行の口座を取得することも目標としている。

○リエンベト郵便銀行の動向

- ・ 法的な制約から郵便局 (PTO) 拠点数は現状の約 1,100 から増やせない状況となっているが、新規認可を求めている状況である。
- ・ 最近ではデジタル分野の強化も行っている。具体的には、インターネットを通じて、預金や信用情報が閲覧可能であるほか、他銀行への送金などを行うことができるサービスを提供している。
- ・ 2016 年 9 月からは、スマートフォン向けアプリ「Vi Viet」の提供を開始し、同アプリを通して、オンライン決済や公共や通信費などの使用量の支払い、航空券やホテルの手配、送金などができるようになった。

- 米クレジットカード大手の Visa が行った調査によれば、2017 年 7 月から 2018 年 5 月までの期間において、同社の非接触決済サービスを利用した支払い件数は月平均で 44%増加した。また、Visa の非接触決済カードの利用額は月平均 43%の増加となった。